感謝の言葉

Allah SWT　のお陰で、「動詞あがるとのぼるの用法における学生の誤用分析」と言う論文を作成することができました。この機会には、筆者は本論を完成を助けてくださった以下の人々に感謝を申し上げると思いました。

1. インドネシア・コンピューター・大学の文学部長のProf. Dr. Moh. Tadjuddin,MA.
2. インドネシア・コンピューター・大学の日本語学科長と一指導教官としての Soni Mulyawan Setiana,M.Pd
3. 日本語学科の教師としての Fenny Febrianty, SS, M.Pd
4. 日本語学科の教師としての Pitri Haryanti. S.Pd
5. 日本語学科の教師としての Dewi Soetanti, SS, M.Pd
6. 授業および論文の作成する間に、絶えず支持を与えた最愛している母、父、姉、弟。
7. 恋人の Silfa さん。
8. 愛している友達の JF “Ju`on Freak” : Tins “Yunho” さん, Fina “Junsu” さん, Nita “Changmin”さん, Q-Why さん, Nia さん、Irwan さん, Ryan さん。四年生の友達とRiskaさん, Cucuさん, Mayaさん。
9. 下宿友達の Kidungs Member : Vya さん, Galih さん, Willy さん, Zerryさん, Sani さん, Jemmi さん, Nti さん, Tigor さん, Ani さん, Kris さん, Bayu さん, Uchi さん。
10. 東方神起, BIGBANG, SUJU, 2NE1.
11. インドネシア・コンピューター・大学の日本語学科のスタッフの Tyas さん, Asti さん, Budi さん。
12. インドネシア・コンピューター・大学の日本語学科の学習者。
13. その他の方々さん。

前書き

本研究は「動詞「あがる」と「のぼる」の用法における学生の誤用分析（インドネシア・コンピューター大学の日本語学科２００８/２００９学年三年生を中心にする研究）」というタイトルである。筆者は、文献調査で、あがるとのぼるを問題にしている。インタービューで用いる。

今回の研究は内容から見れば、単純なことであるため、もっと研究を続けようと思ったのだけ、今回は、これだけしおく。本研究はまだ不明であること、皆様からご指導、ご提案をいただけるように考えられる。

最後に、本研究を完成するになった、一人一人の名前を挙げたことは出来ないが、皆様からご指導を感謝したいと思う。

セティア・ヘルりアナ